

在スロバキア日本国大使館
政治・経済月報（2015年5月）

目 次

内 政

- ◆カジミール財務相の経済相兼任 2

外 政

- ◆ロシア製兵器の製造に関するフィツォ首相発言 2
◆「V4+東方パートナーシップ諸国」会合 2
◆キスカ大統領のウクライナ訪問 2
◆ペレグリニ国会議長の中国訪問 3
◆難民の割り当て提案に関するフィツォ首相発言 3

社 会

- ◆スロバキアにおける外国人就業者数 3

経 済

- ◆地方における主要な外国投資 4
◆スロバキア・テレコム株式の売却 4
◆与党Smerによる第2の社会政策パッケージ 4
◆スロバキア中央銀行月報（5月） 4

別添：主要経済指標

※本月報は公開情報を在スロバキア日本国大使館がとりまとめたものです。

内 政

◆カジミール財務相の経済相兼任（5月6日）

キスカ大統領はパヴリス経済相の辞任を了承すると共に、カジミール副首相兼財務相を兼任の経済相に任命した。フィツォ首相は、経済省が財政及び経済運営に精通した経験ある人物によって率えられる必要があると述べ、カジミール財務相を指名した。経済省はスロバキア電力会社の過半数株式の取得、スロバキア・テレコム社の株式売却、大規模な投資誘致等の課題に取り組んでいる。一定の時期を経て、経済副大臣の1人が新経済相に就任する見込みである。

外 政

◆ロシア製兵器の製造に関するフィツォ首相発言（5月12日付スメ紙）

フィツォ首相はロシアのタス通信に対し、6月に予定されているプーチン露大統領との会談において、ロシア製兵器のスロバキア国内での製造について協議したいと述べた。防衛分野におけるロシアとの協力は国際的な枠組という観点から問題が生じる可能性がある。当初、フィツォ首相は、原油及びガス供給と原子力分野の協力が6月の会談のテーマになるとの考えを示していた。シェベイ国会外交委員長はロシア製兵器のライセンス製造は物議を醸すことになると指摘している。他方、経済省は、フィツォ首相が最新技術を念頭に置いている訳ではないと主張しており、すでに現在スロバキアで製造され、国外に輸出されている軍事兵器部品のライセンス化について述べたと考えている。

◆「V4+東方パートナーシップ諸国」会合（5月15日）

ブラチスラバにおいて「V4+東方パートナーシップ諸国（アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ジョージア、モルドバ、ウクライナ）」外相会合が開催された。会合には、ラトビア、ルーマニア、スウェーデンの外相に加え、モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表及びハーン近隣政策・拡大交渉担当欧州委員も出席した。会合のテーマは、リガで開催される東方パートナーシップ・サミットを前に、東方パートナーシップ諸国の現状を評価することであった。会合では、ウクライナ情勢についても取り上げられ、ウクライナの領土一体性と主権への明確な支持が強調された。また、ウクライナ危機の当事者すべてに対し、ミンスク合意の迅速な履行を呼びかけた。

◆キスカ大統領のウクライナ訪問（5月20日）

キスカ大統領はウクライナを訪問し、ポロシェンコ・ウクライナ大統領等と会談を行った。同大統領はキエフにおいて、ヤツェニューク・ウクライナ首相及びグロイスマン・ウクライナ最高会議議長とも個別に会談を行った。また、

会談に先立ち、栄光公園の無名戦士の墓への献花等を行った。キスカ大統領はポロシェンコ大統領との会談後、「スロバキアが違法なクリミア併合を決して認めず、ウクライナの主権に対する政治的、軍事的、経済的介入を決して受け入れないことを明言する」と述べた。

◆ペレグリニ国会議長の中国訪問（5月25～26日）

ペレグリニ・スロバキア国会議長は、カジミール財務相等と共に北京を訪問した。ペレグリニ議長は張徳江全人代委員長と会談を行い、スロバキア・中国関係の更なる発展を確認すると共に、ビジネス経済交流の具体的可能性について協議した。また、ペレグリニ議長は、中国におけるスロバキア人観光客、そして、スロバキアにおける中国人観光客数の増加を受けて、スロバキア運輸省と中国国家観光局との覚書を準備していることを明らかにした。

カジミール財務相は、中国財政部の楼継偉部長との会談終了後、中国の中規模企業の投資に特に関心を有していることを明らかにし、「我々にとっては、実際にビジネス上のノウハウを交換できる中規模企業に数多く進出してもらうことが望ましい」と述べた。

◆難民の割り当て提案に関するフィツォ首相発言（5月28日付スメ紙）

政府は、欧州委員会によるスロバキアへの758名の難民の割り当てを拒否した。政府はスロバキアにテロリストが流入してくる可能性があることを恐れている。フィツォ首相は、「ある政権に対して爆撃を行い、その結果、大きな混乱をもたらした者が、後になって欧州全体に対して共に取り組むことを強制することはできない」と述べ、リビアのカダフィ政権崩壊に責任を有する国々を批判した。リビア国境の管理が失われた後、同国の沿岸から何千人もの難民が欧州に向かっている。政府が難民の受け入れを望まないのは、テロの可能性だけではなく、難民のもたらす異なる文化や宗教もその理由である。フィツォ首相は「（異なる文化や宗教に）非常に大きな治安上のリスクがあり、我々はその点に言及しなければならない」と述べている。

社 会

◆スロバキアにおける外国人就業者数（5月16日付プラウダ紙）

労働局によると、2015年3月末現在、スロバキアでは2万1300人の外国人が就業している。最も多いのはルーマニア市民であり、約5300人が働いている。次に多いのはポーランド市民の約3200人である。更にチェコ市民の約2600人、ハンガリー市民の約2100人と続く。また、外国人就業者の3分の1はブラチスラバで働いている。

経 済

◆地方における主要な外国投資（5月18日付経済新聞）

スロバキア中部のプリエヴィザ市の工業団地には自動車部品製造の独Brose社が進出予定である。投資額は5000万ユーロで、600名分の雇用創出が見込まれている。スロバキア南部のドゥナイスカー・ストウレダ市では2年前にスイスのシンドラー社が工場拡張を決定し、2013年には南部地域で最大の3000万ユーロの投資を行い、260名を新規に雇用した。スロバキア東部ではコシツェ市において、スイスのHolcim社が約60名のIT専門家の雇用と250万ユーロ以上の投資を決定した。同社はコシツェに戦略サービスセンターを設置する。コシツェは、ワルシャワ、プラハ、ブダペスト、ブラチスラバ等の都市と競って誘致を勝ち取った。今後、更なる雇用創出が見込まれる。

◆スロバキア・テレコム株式の売却（5月20日付スメ紙）

スロバキア政府はスロバキア・テレコム（ST）の49%の株式を売却した。購入したのはドイツ・テレコムで、2000年にはSTの51%の株式を取得していた。政府は49%の株式を9億ユーロで売却したが、先ずは8億ユーロのみを得る。残りの1億ユーロの支払いは8年間凍結され、STの係争中の裁判によって負担や損失が生じた場合には、その中から支払われることになる。当初、ST株式は株式市場で売却される予定で、総額は7億5000万ユーロと見込まれていた。

◆与党Smerによる第2の社会政策パッケージ（5月24日付経済新聞）

与党Smerは第2の社会政策パッケージを発表した。新たな施策のために必要とされる予算は2億ユーロに上る見込みである。目玉となるのは一部の食料品の付加価値税率の10%への引き下げである。また、最低賃金も380ユーロから400ユーロへと引き上げられる予定である。更には、失業率が20%を越える地域への投資インセンティブ・プログラムも設けられる。その他、休業前の賃金の65%となっていた育児休業給付は70%に引き上げられ、児童扶養手当は月額230ユーロから280ユーロへと増額される。

◆スロバキア中央銀行月報（5月）

1. GDP

スロバキア統計局の速報値では、第1四半期のスロバキア経済は前期比で0.8%の伸びを示し、前年同期比では3.1%と加速した。特に純輸出及び国内消費が経済成長に貢献した可能性が高い。特定部門における3月の売り上げは6.1%と比較的力強い伸びを示したが、小売業だけが予測を下回り、周辺国

の状況とは対照的なものとなっている。消費を後押しする要因には、低金利や一般家庭への融資の増加、税収増加、労働市場の好調な動き等が含まれる。鉱工業生産は2015年第4四半期より比較的顕著な加速を示し、3月には前年同期比で10.1%増加した。自動車生産の伸びに加えて、電機及び加工食品生産も鉱工業生産の増加を後押しした。投資に関しては、3月の建設部門は前期比で比較的顕著な伸びを見せた。建設工事は第1四半期全体でプラスを維持した。前期比では、特に保守関連や新たなインフラ工事が増加した。

2. 雇用率及び賃金

3月の雇用率の伸びは、前期比で0.2%、前年同期比1.8%の伸びを見せた。特に鉱工業及びサービス部門が前期比での伸びに貢献したと考えられる。4月の季節調整前の登録ベースでの平均失業率は前月比0.37%減の11.68%であった。特定部門における3月の平均賃金上昇率は、前年同期比で前月の3%から3.5%へと加速した。全体では、最も低い賃金水準となっている建設、宿泊及び飲食部門において第1四半期における平均賃金の最大の伸びが見られた。本年1月に最低賃金を約8%引き上げて380ユーロとしたことが原因と考えられる。3月の平均名目賃金は837.2ユーロであった。

3. 物価

4月の前年同期比での物価下落は緩和され、消費者物価指数は前年同期比で0.1%減となり、前月比では0.3%増となった。中銀の予測に比して、食料品価格は高い伸びを示し、逆に燃料を除く鉱工業製品の価格の伸びは予測を下回った。2015年にはインフレが若干加速すると予測されているが、2016年から予定されている一部の食料品の付加価値税率引き下げは今後の物価上昇をわずかに鈍化させる可能性がある。

4. 貿易

海外市場の回復及び自動車産業における新型モデルの生産開始は、鉱工業生産の増加、続いて輸出高に現れ、輸出は年初から増加し、輸出は輸入も牽引したが、輸入の伸びは輸出と比べて緩やかなものであった。3月の製品輸出は前年同期比5.7%増、輸入は同3.7%増となった。2015年3月の貿易黒字は4億2100万ユーロであった。

(了)

スロバキア主要経済指標

(出典:スロバキア統計局)

